

授 業 科目名	【 G 】	法哲学Ⅰ	区 分		開講年次	【 G 】 3	単位数	【 G 】 2
	【 H 】	法哲学Ⅰ	その他参照			【 H 】 3		【 H 】 2
科目区分	専門科目							
授業形態	対面授業							
担当形態	単 独							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブ タイトル	法と社会と正義の関係を考える					担当者	大上 尚史	
授業概要	【概要】	法哲学は、憲法や民法、刑法などの実定法解釈学とは異なり、実定法秩序の構造を考え、実定法秩序の「基礎」や、法の目的・理念・法学の性格や方法等を対象とします。 法哲学Ⅰでは正義論を中心に、法が社会で果たす役割や、実現すべき価値について学びます。講義では、正義、自由、平等などの価値と法の関係についての様々な見解を紹介し、そのような諸価値が法を通していかにして社会の中で実現されていくかを考察します。						
	【到達目標】	①法が社会においてどのような役割を果たしているのか理解する。 ②法と正義の関係について首尾一貫した意見を表明できる。 ③現代正義論の主要な立場がどのような社会を実現すべきと考えているかを説明することができる。						
履修条件	特になし。							
アクティブ ラーニングの 方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【－】	調査学習	【－】	フィールドワーク
	【－】	双方向アンケート	【－】	グループワーク	【－】	対話・議論型授業	【－】	ロールプレイ
	【－】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【－】	PBL	【－】	その他
ディプロマ・ ポリシーとの 関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①		◎（よく当てはまる）					
	DP(ディプロマ・ポリシー)②		－（当てはまらない）					
	DP(ディプロマ・ポリシー)③		－（当てはまらない）					
	DP(ディプロマ・ポリシー)④		－（当てはまらない）					
他科目との 関連性	法哲学Ⅱを合わせて履修すると、法哲学の体系的理解が深まります。							
教科書	深田三徳・濱真一郎編著『よくわかる法哲学・法思想』（第2版、ミネルヴァ書房、2015年）							
参考書	授業中に、適宜、資料を配布します。							
評価方法	学期末レポート(100%)によって評価します。							
フィードバック 方法	出席確認を兼ねて、リアクションペーパーの提出を求めることがあります。リアクションペーパーで受け付けた質問等については、次回授業時の冒頭で回答します。学期末レポートは、採点・評価後に解答ポイントについて解説します。							
評価基準	上記授業の内容について、これを良く理解し、適切に表現できた者には「A」（うち特に優れたものには「S」）を、授業の内容についての理解や表現に不適切な点がある者には、その程度に応じて「B」または「C」を、授業の内容についての理解自体が不十分な者には、その程度に応じて「D」または「E」を与えます。学期末レポートが未提出である等、評価不能の場合には「F」とします。							

授 業 科目名	【 G 】	法哲学 I	区 分	開講年次	【 G 】 3	単位数	【 G 】 2
	【 H 】	法哲学 I	その他参照		【 H 】 3		【 H 】 2
授業回数	授業内容						
1	法哲学とはどのような学問分野か						
	予習:	教科書の目次、導入部を読んでおくこと。(60分)		復習:	法哲学がどのような問題を扱うのかまとめる。(120分)		
2	法の社会的機能						
	予習:	教科書74-77頁を読み、疑問点をまとめる。(60分)		復習:	疑問点が解決できたか教科書を読み確認する。(120分)		
3	法と道徳①法と道徳の類似点、相違点						
	予習:	教科書82-87頁を読み、疑問点をまとめる。(60分)		復習:	疑問点が解決できたか教科書を読み確認する。(120分)		
4	法と道徳②法と強制、リーガル・パターナリズム、リーガル・モラリズム						
	予習:	教科書78-79頁、88-91頁を読み、疑問点をまとめる。(60分)		復習:	疑問点が解決できたか教科書を読み確認する。(120分)		
5	法と道徳③悪法も法か、遵法問題						
	予習:	教科書48-53頁を読み、疑問点をまとめる。(60分)		復習:	疑問点が解決できたか教科書を読み確認する。(120分)		
6	法と正義①アリストテレスの正義論						
	予習:	教科書6-7頁、96-97頁を読み、疑問点をまとめる。(60分)		復習:	疑問点が解決できたか教科書を読み確認する。(120分)		
7	法と正義②形式的正義と手続的正義						
	予習:	教科書96-99頁を読み、疑問点をまとめる。(60分)		復習:	疑問点が解決できたか教科書を読み確認する。(120分)		
8	法と正義③正義と価値相対主義						
	予習:	教科書100-103頁を読み、疑問点をまとめる。(60分)		復習:	疑問点が解決できたか教科書を読み確認する。(120分)		
9	法と正義④法固有の正義はあるか						
	予習:	教科書94-95頁を読み、疑問点をまとめる。(60分)		復習:	疑問点が解決できたか教科書を読み確認する。(120分)		
10	正義論①功利主義						
	予習:	教科書104-107頁を読み、疑問点をまとめる。(60分)		復習:	疑問点が解決できたか教科書を読み確認する。(120分)		
11	正義論②ロールズの正義論						
	予習:	教科書108-111頁を読み、疑問点をまとめる。(60分)		復習:	疑問点が解決できたか教科書を読み確認する。(120分)		
12	正義論③リバタリアニズム						
	予習:	教科書112-117頁を読み、疑問点をまとめる。(60分)		復習:	疑問点が解決できたか教科書を読み確認する。(120分)		
13	正義論④平等主義						
	予習:	教科書130-131頁を読み、疑問点をまとめる。(60分)		復習:	疑問点が解決できたか教科書を読み確認する。(120分)		
14	正義論⑤リベラリズム批判						
	予習:	教科書120-125頁を読み、疑問点をまとめる。(60分)		復習:	疑問点が解決できたか教科書を読み確認する。(120分)		
15	総括(学期末レポートの解説を含む)						
	予習:	法哲学 I を学んで生じた疑問をまとめる。(60分)		復習:	質疑応答を通して理解したことをまとめる。(120分)		
その他	授業中の私語が著しい場合や他の受講者の迷惑となることをしている場合には、退室をお願いすることがあります。 授業の予習復習以外に、レポート作成のための授業外学習が必要となります。主体的な姿勢での取り組みを望みます。 ※G・Hカリ:【選択必修修(ス)】						